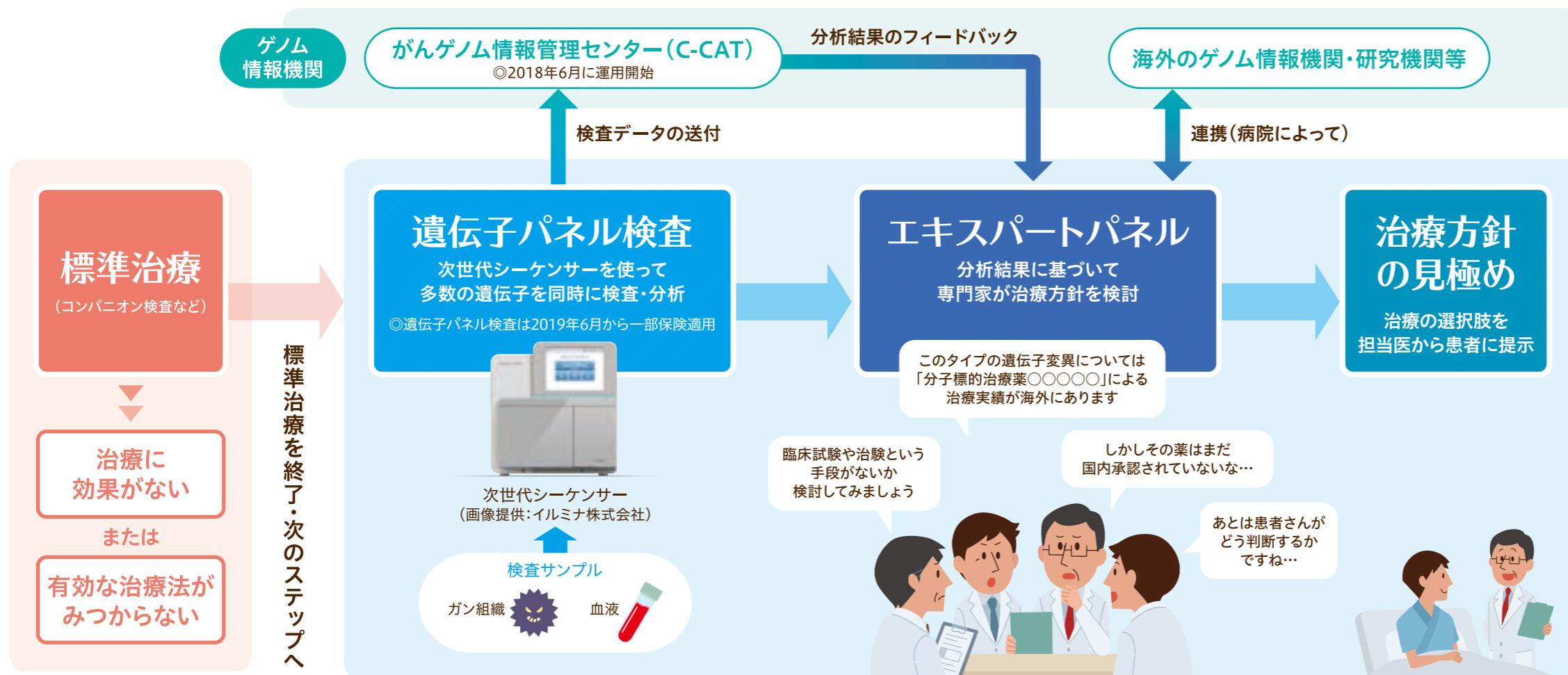


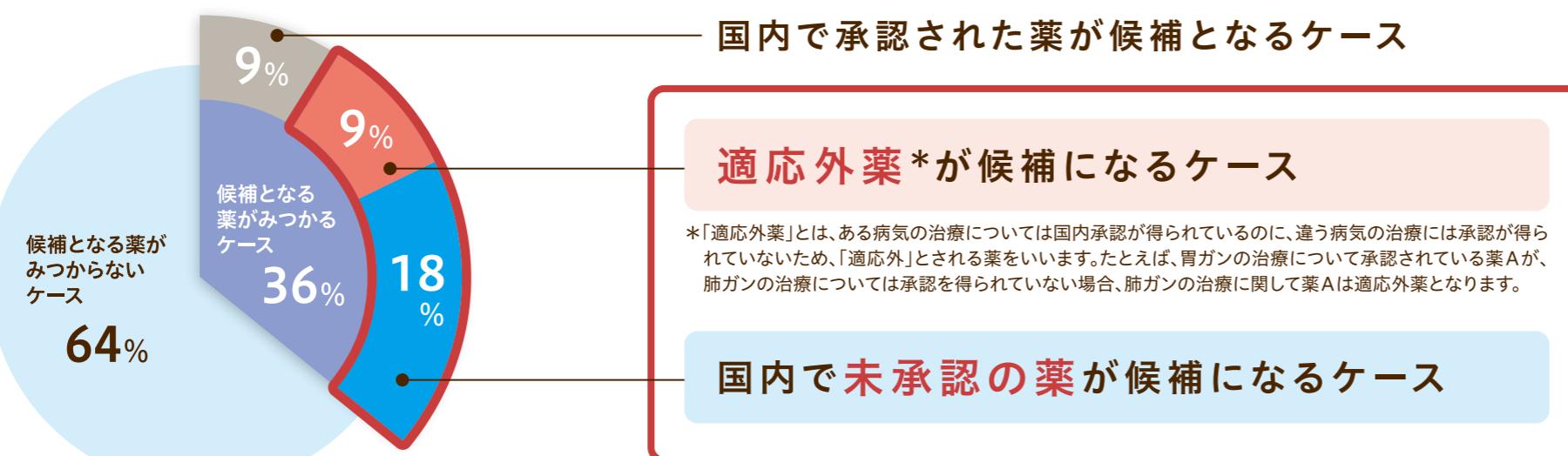
遺伝子をトータルに調べることでその人にとって最良の治療法を探す取り組みが始まっています。

■ 遺伝子パネル検査の概要(イメージ)



遺伝子パネル検査で治療の候補となる薬がみつかる割合は、現在では $\frac{1}{10} \sim \frac{1}{3}$ 程度。さらに、みつかった薬の多くが未承認薬または適応外薬といわれています。

■過去の臨床研究結果(MSK-IMPACT、468遺伝子の例)



出典：厚生労働省「がん遺伝子パネル検査の結果に応じた治療方針(平成30年11月22日)

※左記は、「MSK-IMPACT」という保険適用外(2019年10月時点)の遺伝子パネル検査の臨床研究結果です。採用される遺伝子パネル検査によって、検査結果は異なりますのでご注意ください。

遺伝子パネル検査について

- ・「コンパニオン検査」が薬ごとで調べるある特定の個々の遺伝子検査だったのに対して、「遺伝子パネル検査」では数十個から数百個の遺伝子を一度に調べることができます。
 - ・検査は、生検や手術で取り出したガン組織や血液を用い、高速で大量のゲノム情報を読み取ることができる「次世代シーケンサー」という解析装置で調べます。

⚠️ 2019年6月から、一部の遺伝子パネル検査は保険適用となりました。

エキスパートパネルについて

- 国の指定を受けた「がんゲノム医療中核拠点病院」および「がんゲノム医療拠点病院」に設置される専門家チームをいいます。
 - チームは、担当医、病理医、遺伝医療の専門家、がんゲノムの専門家、バイオインフォマティクス(生命情報科学)など様々な分野の専門家で構成され、遺伝子の検査データをもとに、患者に適した治療法を検討します。
 - 「がんゲノム医療連携病院」には、提携する病院のエキスパートパネルから、治療に関する助言が提供されます。

未承認薬・適応外薬が使われた場合、
その治療は「自由診療」となります。

「自由診療」となった場合、健康保険の適用が受けられず、薬剤費だけではなく、入院費、検査費などすべての治療に関する費用が自己負担となるので、患者にとって重い経済的負担が生じることもあります。

※「治験・臨床試験に参加した場合」「患者申出療養制度を活用した場合」「先進医療を受療した場合」などは、未承認薬・適応外薬を使っても医療費のすべてが全額自己負担となるわけではありません。

チューリッヒ生命

このような治療を受けたときに給付金でサポートします。

前立腺ガン(ステージB)

罹患時 69歳
男性／74歳・無職

家族 妻(70歳・専業主婦)
息子(42歳・会社員・独立)

5年前に人間ドックで前立腺ガンの腫瘍マーカーであるPSAが高値だったため、精密検査をしたところ、ガンがみつかった。直腸診で触れることができる大きさだが、ガンは前立腺内にとどまっているステージBと診断される。放射線治療、ホルモン療法を経て、骨転移となつたため、抗がん剤治療に切り替えるものの効果がみられない。遺伝子パネル検査をして、前立腺ガンには保険適用外の抗がん剤治療を開始する。

治療の経過と費用の内訳

	通院日数	抗がん剤処方月数	費用
人間ドック			
			自覚症状なし。PSAの値が高かったため、精密検査を受けることになった。
通院・入院			
診断			大学病院で検査の結果、前立腺ガンと判明。2日通院した後、入院。
2日間			● 入院費・検査費用など(超音波検査・MRI検査・前立腺生検など) :約17万円(自己負担3割:約5万円)
通院			
放射線治療	16日間		重粒子線治療を、週に4回、4週間行う。 ● 重粒子線治療:314万円(高額療養費適用後の自己負担:約17万円) ※2021年4月現在の情報に基づき、健康保険適用としています
入院・通院			
ホルモン療法・抗がん剤治療	11日間	2ヶ月分	ホルモン療法(リュープリン)を行う。 その後、PSA値上昇、骨転移発覚したため、抗がん剤治療(AAP療法、初回入院あり)に切り替える。 ● ホルモン療法(3年/定期検査費含む): 約172万円(自己負担3割:52万円) ● 骨シンチグラフィなどの検査:約8万円(自己負担3割:2.5万円) ● 抗がん剤治療(2ヶ月): 約31万円(高額療養費適用後の自己負担:約16万円)
遺伝子パネル検査			
	1日間		遺伝子パネル検査を受け、BRCA遺伝子変異陽性が判明。 ● 検査費用:約56万円(高額療養費適用後の自己負担:約17万円) ※2019年6月から、一部の遺伝子パネル検査は健康保険適用となりました
通院			
薬物療法	5日間		骨転移の治療として生物学的製剤(デノスマブ)を1ヶ月に1回投与。 ● 骨転移治療薬(6ヶ月/検査費用含む): 約40万円(自己負担3割:約12万円)
<新しく治療を受けることになった病院>			
入院・通院			抗がん剤(オラパリブ錠1日2回+エンザルタミドカプセル1日1回)を自由診療で毎日服用(初回入院あり)。
自由診療抗がん剤治療	5日間	6ヶ月分	● 抗がん剤治療(6ヶ月):約240万円(全額自己負担)

罹患後約5年間の自己負担の合計

約361.5万円

うち 自由診療抗がん剤治療 240万円

兼松ウェルネス株式会社 作成

終身ガン治療保険

プレミアムZ

月払保険料例

主契約:II型(自由診療抗がん剤治療給付金4倍)/ガン治療特約:付加/保険期間・保険料払込期間:終身
悪性新生物保険料払込免除特約(Z03):付加

2021年4月1日現在

主契約 基準給付月額		15万円(自由診療60万円)		
年齢		30歳	40歳	50歳
男性	保険料	1,885円	2,755円	4,285円
	内訳 主契約 ガン治療特約	1,110円 775円	1,620円 1,135円	2,505円 1,780円
女性	保険料	2,140円	2,790円	3,390円
	内訳 主契約 ガン治療特約	1,410円 730円	1,875円 915円	2,370円 1,020円

チューリッヒ生命 終身ガン治療保険プレミアムZ

- 主契約:基準給付月額15万円(自由診療抗がん剤治療給付金II型)
- ガン治療特約:付加
- 悪性新生物保険料払込免除特約(Z03)付加
- 保険期間・保険料払込期間:終身

<左記ケースの場合のお支払い例>

ホルモン剤治療 36ヶ月 (3年)	● ホルモン剤治療給付金 5万円×36ヶ月=	180万円
抗がん剤治療 2ヶ月	● 抗がん剤治療給付金 15万円×2ヶ月=	30万円
遺伝子パネル検査	● ガン治療関連給付金 ※がん診療連携拠点病院にて実施 ※同一月に所定の抗がん剤治療、ホルモン剤治療、手術、放射線治療、緩和療養の治療なし	5万円
自由診療抗がん剤治療 6ヶ月	● 自由診療抗がん剤治療給付金 60万円×6ヶ月=	360万円

給付金のお支払いをわかりやすくご説明するための事例です。
記載以外に認められる事実関係等によっても取扱いに違いが生じることがありますのでご注意ください。

このチラシは商品の概要を説明しています。詳しくはパンフレットおよび契約概要・注意喚起情報をご確認ください。

募集代理店

お支払い合計額
575万円

引受保険会社



ZURICH
チューリッヒ生命

チューリッヒ生命保険株式会社
〒164-0001 東京都中野区中野4丁目10番2号
中野セントラルパークサウス16階